

お知らせ
<ul style="list-style-type: none"> •ハンドピースヘッドからのオイル飛散を防ぐため、スプレーミスト吸収パック（REF：Y900084）の使用をお勧めします。

8-5 滅菌

本製品はオートクレーブ滅菌にて滅菌してください。患者の治療終了毎に、以下の通り滅菌を行ってください。

- 1 滅菌バッグに入れ、封をします（図 26）。
- 2 オートクレーブ滅菌を行います。以下の条件でオートクレーブ滅菌を行ってください（図 26）。

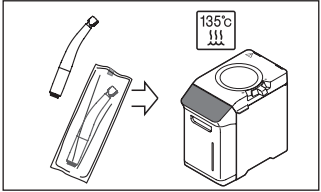


図 26

▲ 注意

- ハンドピース内に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前に、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- 薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- 滅菌が終了したらすぐ（1時間以内）に、機器を滅菌器から取り出してください。腐食の原因になります。
- 急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- 乾燥工程を含め、135°Cをこえる滅菌器を使用しないでください。故障の原因になります。滅菌器によっては、乾燥工程で135°Cをこえる場合がありますので、詳しくは滅菌器の製造販売業者に確認してください。
- 滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。
- 本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。

お知らせ

- EN13060 に示されるクラス B 滅菌器の使用を推奨します。

8-6 保管

使用するまで滅菌バッグに入れたまま、乾燥した清潔な状態を保てる場所に保管します（図 27）。

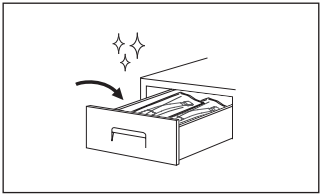


図 27

▲ 注意

- 滅菌バッグの製造販売業者が指定した滅菌保持期間をこえて、滅菌保持を保証することはできません。滅菌保持期間を過ぎた場合は、新しい滅菌バッグを使用して再度滅菌してください。
- 保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。

9 グラスロッドの清掃

グラスロッドにゴミや切削物などが付着した場合は、消毒用アルコールを染みこませた綿棒などで丁寧に拭き取ります（図 28）。

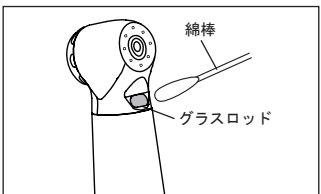


図 28

▲ 注意

- グラスロッドを清掃するときに、針や刃物などを使用しないでください。使用すると傷がつき、光の透過率が下がります。

10 注水ノズルの清掃

注水ノズルが詰まったり、注水が十分に出ない場合は、付属のクリーニングワイヤを注水ノズルへまっすぐ挿し込み清掃します（図 29、図 30）。

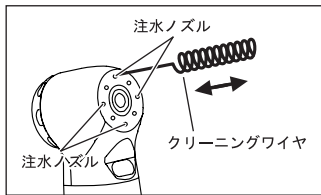


図 29

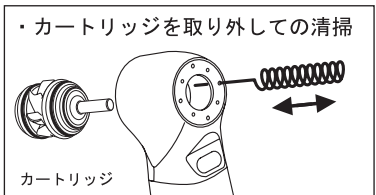


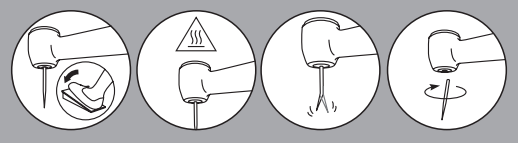
図 30

▲ 注意

- 注水ノズルにクリーニングワイヤを無理に挿し込んだり、斜めに挿し込んだりしないでください。注水ノズルが変形し、パーに注水が当たらないなどの不具合の原因になります。
- クリーンヘッド穴には、クリーニングワイヤを挿し込んだり、エアを吹き込んだりしないでください。

11 カートリッジ交換

以下のような症状が現れたら、カートリッジを交換してください。



- 回転しない、回転が不安定
- 発熱する
- 芯ブレする
- パーが抜ける

- 1 新しいカートリッジ、テストバー、本製品付属のヘッドキャップレンチを用意します（図 31）。
- 2 ハンドピースにテストバーを装着します。
- 3 ヘッドキャップレンチをヘッドキャップに合わせ、反時計方向に回し、ヘッドキャップをゆるめます。ヘッドからカートリッジを取り出します（図 32、図 33）。

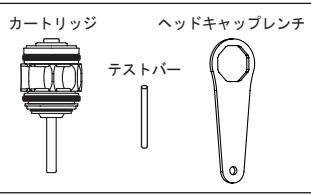


図 31

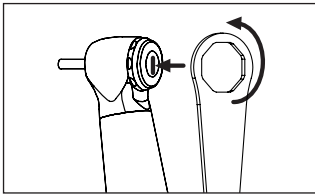


図 32

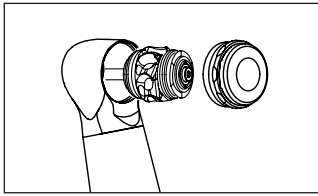


図 33

- 4 ヘッド内部にパナスプレープラスを2～3秒スプレーします。ヘッドキャップ内部にも軽くスプレーします（図 34）。
- 5 新しいカートリッジをヘッドに挿入します（図 35）。

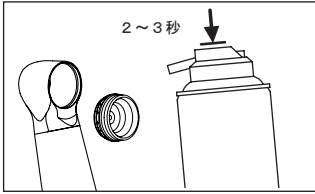


図 34

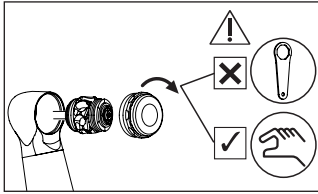


図 35

▲ 注意

- ヘッドキャップのねじは軽く手で締めてから最後にゆるまないようにレンチで締め付けてください（図 35）。

- 6 ヘッドキャップをヘッドキャップレンチでしっかりと締め付けます（図 36）。

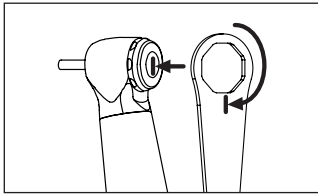


図 36

▲ 注意

- カートリッジのOリングが、正しく取り付けられているか確認してからセットしてください（図 37）。
- 弊社製の純正カートリッジを必ず使用してください。
- 他社製カートリッジを使用した場合は保証の対象外となります。
- 弊社では、カートリッジの分解修理は認めていません。一度分解すると、音や振動が大きくなったり部品が脱落する危険性があります。分解修理したカートリッジに起因する事故等の一切の責任は負いかねます。

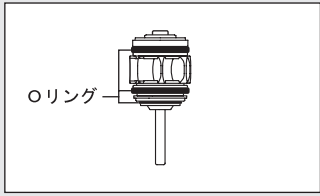


図 37

12 アフターサービス

本体には登録カード、保証書が添付されています。使用する前に登録カードを記入の上、返送してください。また保証書は、必ず「販売店印及び購入日」を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから7年です。この期間を修理可能期間とします。修理が必要な場合は販売店まで連絡してください。

13 製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は獣医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

14 スペアパーツ一覧

製品名	REF	備考
SX3-NU03	PA2307X001	カートリッジ
SX-NU04	PA2307X050	ヘッドキャップ
クリーニングワイヤ	Z144101	ワイヤのみ
SX-NU05	PA2307X765	ヘッドキャップレンチ
スプレーノズル(ML)	Z090055	—

※その他の部品については販売店まで連絡してください。

15 仕様

一般的名称	歯科用ハンドピース	
販売名	エスマックス MT	
型式	M micro ML	
回転速度	380,000 - 450,000 min ⁻¹	
使用バー	JIS T 5504 φ 1.59 - 1.60 mm ショートシャンクバー / スタンダードバー	
バー装着長さ	9 mm	
バーの最大長さ	21 mm	
最大作業部径	φ 2 mm	
推奨給気圧力	0.28 MPa (2.8 kgf/cm ²)	
使用可能給気圧力	0.25 - 0.30 MPa (2.5 - 3.0 kgf/cm ²)	
最大空気消費量	< 66 NL/min(0.30 MPa 時)	
給水圧力	0.08 - 0.20 MPa(0.8 - 2.0 kgf/cm ²)	
チップエア圧力	0.10 - 0.20 MPa (1.0 - 2.0 kgf/cm ²)	
照明	グラスロッド	

使用環境	温度：10 - 40°C	湿度：30 - 75%
輸送・保管環境	温度：-10 - 50°C	湿度：10 - 85% 気圧：500 - 1,060 hPa

付属品	M micro ML
スプレーノズル	✓
クリーニングワイヤ	✓
ヘッドキャップレンチ	✓

M micro ML
モリタαメインチューブ用

16 シンボルマーク

- 指示方向へ動かす
- 止まるまで指示方向へ動かす
- 禁止 / 処理不可 / 間違い
- 手順実行 / 許可 / 正しい処理
- 固定
- ウォッシャーディスインフェクター（熱水洗浄器）の使用が可能
- 135°Cの温度でオートクレーブ可能
- 保護手袋着用
- フェイスマスク着用
- 目の保護具着用
- 手動操作
- 高温注意
- 取扱説明書参照
- 注意
- カタログ番号（製品番号）
- シリアル番号
- 温度制限
- 湿度制限
- 気圧制限
- 医療機器固有識別子（UDI）のためのGS1データマトリックス

お客様相談窓口

0120-7242-56
9:00～17:00 / 土日・祝日を除く
cs@nsk-nakanishi.co.jp

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

株式会社ナカニシ

www.nsk-nakanishi.co.jp

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向 700
TEL:0289-64-3380

2022-00-00 CACC0000 000N